

令和5年度定時会員総会 議案

【第1号議案】

令和5年度
事業報告（報告事項）
損益計算書〈正味財産増減計算書〉、
貸借対照表、財産目録（承認事項）
監査報告書（報告事項）
自令和5年1月1日 至 令和5年12月31日

【第2号議案】

令和6年度
事業計画、収支予算書（報告事項）
自令和6年1月1日 至 令和6年12月31日

【第3号議案】

理事及び監事選任（選任決議事項）
任期2年（令和8年まで）

※注記1：本書は「会員（社員）総会参考書類」を兼ねています。

※注記2：「令和5年度定時会員総会招集通知」が裏表紙にあります。

※注記3

①会員総会出席者は原則として「議決権行使書と議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使してください。

②会場内でのマスクの着用や、手指消毒等の感染症対策は、個人の判断でお願いします。なお、感染状況等によってはマスクの着用を求める場合があります。

③当日で出席願えない場合、「事前の議決権行使」をお願いします。招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法で3月11日までに北海道倶楽部宛に送付して下さい。

令和6年3月12日
公益社団法人北海道倶楽部

令和5年度定時会員総会 議案

【第1号議案】(●報告事項及び●承認事項)

令和5年度 事業報告、 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録 監査報告書

自令和5年1月1日 至 令和5年12月31日

●報告事項

「令和5年度庶務事項報告（総会、理事会報告）」 . . . 1 ページ

「令和5年度事業報告」 9 ページ

「令和5年度 会員異動状況」 14 ページ

●承認事項

「損益計算書（正味財産増減計算書）」 15 ページ

「貸借対照表」 16 ページ

「財産目録」 17 ページ

「キャッシュフロー計算書」 18 ページ

「計算書類に対する注記，附属明細書」 19 ページ

●報告事項

「監査報告書」 20 ページ

【第2号議案】(●報告事項)

令和6年度 事業計画、収支予算書

自令和6年1月1日 至 令和6年12月31日

●報告事項

「令和6年度事業計画書」 21 ページ

「令和6年度収支予算書」 24 ページ

【第3号議案】(●選任決議事項)

理事及び監事選任 任期2年（令和8年まで）

●選任決議事項

「理事及び監事選任」 25 ページ

(金額は原則円単位です。)

令和5年度庶務事項報告（総会、理事会報告）

（諸会議報告の要旨である。省略した事項、別紙等は正規の議事録に記載されている。）

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

種 別	概 要
<p>1. 総会 令和4年度定時会員総会 3月7日</p>	<p>第1号議案「令和4年度 事業報告（報告事項）、損益計算書〈正味財産増減計算書〉・貸借対照表・財産目録（承認事項）」の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配付資料の確認の後、資料の1～20頁に基づき説明した。 議長は鐵川照夫監事に監査報告を求めた。 監事は「令和4年度の事業・会計報告につき諸資料、帳票、帳簿などを詳細に調査した結果、適法かつ適正であること」、「理事の職務遂行についても適法かつ適正である」と監査報告をした。 この議案につき質問、意見を求めたが、全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>第2号議案「令和5年度 事業計画、収支予算書（報告事項）」承認の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料22～25頁に基づき説明した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>最後に、議長から全般にわたり発言を募った。（詳細は省略） 以上により本日の全議案は原案のとおり決議され、審議は終了したので、午後1時30分過ぎ、議長は令和4年度定時会員総会の終了を告げた。 （於 永田町ほっかいどうスクエア2階会議室）</p>
<p>2. 理事会（評議員会） 2月16日 ・書面による理事会を除き、各理事会では、出席の代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告が行われている。 ・書面による理事会を除き、事務所での参加者を含め、WEB会議システム（Microsoft Teams）を利用し行う。出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意見表明が互いにできる仕組みを確認後に議案の審議に入る。</p>	<p>第1号議案 令和4年度事業報告及び決算等の承認の件（別冊「令和4年度定時会員総会 議案」参照） （1）事業報告書（2）事業報告書の附属書類（3）貸借対照表（4）損益計算書（正味財産増減計算書）（5）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類（6）財産目録（7）監査報告書</p> <p>第2号議案 内閣総理大臣宛「事業報告等に係る提出書」提出について決議する件</p> <p>第3号議案 令和4年度会員総会に係る件（定款第29条第1項第1号の事項） （別冊の「令和4年度定時会員総会 議案」、「総会招集通知」につき承認をお願いします。）</p> <p>第4号議案 会費未納会員の会員資格喪失者、会員入退会、会員数ほかの件 （1）会費未納（3年以上）会員の会員資格喪失者について（定款第11条第1項第1号による資格喪失者の報告） （2）会員の入会について （3）会員の退会（登録会員の抹消を含む）、会員推移</p> <p>第5号議案 その他 （1）新年交礼会開催について 1月27日新型コロナウイルス感染防止のため着席によりホテルニューオータニで3年ぶりに開催した。 （2）令和5年度寄附のお願いの件</p>

種 別	概 要
	<p>(3) 会費の請求について</p> <p>(4) 広報紙「北海道 "NOW"」(会報) 自治体紹介ページ 今後の掲載スケジュールについて</p> <p>(5) 令和5年北方領土返還要求全国大会開催</p> <p>(6) 4月からの事務局業務について</p> <p>1) 企画、会報制作ほかの業務委託契約終了後の対応について</p> <p>2) 嘱託職員の雇用条件改定について</p> <p>(7) 理事会・評議員会ほか予定</p> <p>(北海道倶楽部事務所及び WEB 会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>
<p>4月28日 (書面理事会)</p> <p>・以降各書面理事会の日付は事務所押印等のため事務所から発送した時点に記載した。</p> <p>・各書面理事会の議事録には全部の押印等が終了し事務所に返送された日時を記入した。</p>	<p>第1号議案 役員退任、選出の件</p> <p>(1) 当法人の理事、副会長、そして理事長を務められ、当法人の公益事業に多大なる貢献をされた村上隆男さんが、令和5年3月7日に永眠された。定款第11条第1項第4号の死亡に該当し、定款第27条第1項により代表理事、理事、理事長を退任になる。(参考 履歴事項全部証明書) 川村隆会長を後任の理事長に選任し、暫定で会長と理事長の兼任とする。その就任は令和5年3月7日に遡って就任するものとする。ご本人がこの議案に賛成されたことで就任の承諾を得たものとする。この議事録の押印終了後に役員「変更の届出」を内閣府に提出予定。令和6年3月総会時の次期役員選任時までには今後の役員について検討する。</p> <p>(2) 令和5年4月28日に辞任される評議員</p> <p>(3) 令和5年4月28日に理事長に委嘱していただく評議員</p> <p>第2号議案 会員異動の件 (新入会員審査ほか)</p> <p>第3号議案 その他 (報告承認事項) の件</p> <p>(1) 事務局の体制</p> <p>(2) PMF の顧問について 故村上隆男さんは公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバルの顧問に就任していたが、後任に川村隆会長兼理事長を推薦。</p> <p>(3) 寄附金の状況 (令和5年4月18日現在)</p> <p>1) R4年実績 91人、2,809,000円 R5年予算 3,190,800円</p> <p>2) 応募60人、2,319,000円 入金者数48人、入金実績1,704,000円</p> <p>(4) キャンペーン状況 (令和5年4月18日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 694個・121,000円/44,700個・7,395,463円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 119個・19,750円/3,518個・705,670円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 0個・0円/3,454個・582,358円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況 本年度頒布数/同累計・金額 0枚・0円/482枚・388,600円</p> <p>(5) 今後の予定ほか</p>

種 別	概 要
	<p>講演会、交流の夕べ、交流イベント、北方領土対応、北方領土返還要求中央アピール行進の具体的対応については評議員会・部会で検討する。</p> <p>(6) 理事会等予定</p>
<p>6月15日 理事会(評議員会)</p>	<p>第1号議案 「倶楽部の今後に向けて活動方法の検討」の件</p> <p>(1) 過去議論されてきた会員減少、財政縮小などの影響に対応すべく倶楽部の活動活性化に関して別紙「倶楽部の今後に向けて活動方法の検討」により会員等に協力をお願いする件について理事会に基本的な承認をお願いする。</p> <p>(2) 前記(1)におけるボランティア無償業務に関連し以下の通り就業規則の改正をお願いする。</p> <p>1) 就業規則 第11条(給与)に以下の10.を追加する。 10. 事務局長の業務の一部を有償、無償で他に行わせた場合、事務局長の起案・承認と理事長の確認のもと当該業務に相当する事務局長の月次の本俸を減額して支給する。なお、当該業務には、事務局長自らが無償で行うとした業務を含む。</p> <p>2) 関連外の修正だが、現状に合わせるため以下の通り変更する。 就業規則 第19条本文の 懲戒の審議をする「総務部会」を「評議員会」に変更</p> <p>(3) 倶楽部の今後に向けて、会報なども活用し、次期事務局長を募集する。</p> <p>第2号議案 交流の夕べ、交流イベント、講演会等対面型イベントの件</p> <p>(1) 参加者の事前募集と会費の事前徴収方法は今後も続けたい。</p> <p>(2) 講演会の無料参加は維持するが、諸般の情勢に鑑み他の3イベントについては一律に各1万5千円とし、ある個別イベントの収支が悪くとも他のイベントと総合すれば収支相償となるように対応を考えたい。</p> <p>(3) 講演会については、再選された鈴木知事という案、小池副会長から北海道ボールパークFビレッジで評判の上野 正三北広島市長に町づくりについて講演という案、理事会・評議員会合同会議終了後に会員を講師に小型版講演会という案など、皆様のご意見とご協力をお願いする。</p> <p>第3号議案 交流の夕べについて</p> <p>以前の立食形式で行いたい。夕張支援のため夕張メロン付で行う。 開催日時 8月4日18時～20時 会場 銀座クラシックホール</p> <p>第4号議案 新入会員審査の件ほか(会員の入・退会、会員の推移)</p> <p>第5号議案 その他(報告承認事項)の件</p> <p>(1) 寄附金の状況(令和5年6月12日現在)</p> <p>① R4年実績 91人、2,809,000円 R5年予算 3,190,800円</p> <p>② 応募75件、2,717,000円、入金者数73人、入金実績2,657,000円</p> <p>③ 例年通り、会員外の寄附者は1年間賛助会員として、会報・各種案内を送る。イベント開催が行われる場合は高額寄附者へのイベントのご招待を行う。</p> <p>(2) キャンペーンの状況(令和5年6月12日現在)</p>



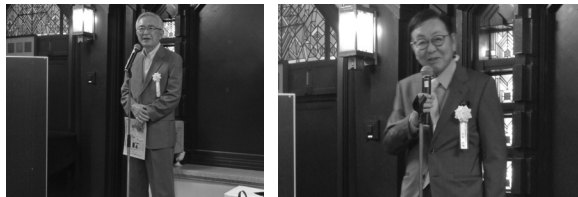
種 別	概 要
	<p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 958 個・164,500 円／ 44,964 個・7,483,963 円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 133 個・23,250 円／ 3,532 個・709,170 円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 5 個・1,250 円／ 3,459 個・583,608 円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD の状況 本年度頒布数／同累計・金額 0 枚・0 円／ 482 枚・388,600 円</p> <p>(3) 今後の事業予定ほか (以下の具体的対応については、今後検討する)</p> <p>① 北方領土 ビザなし交流 現下の状況では、「ビザなし交流」の再開は困難と思われる。</p> <p>② 交流イベントは 事業計画 上では予定しているが、事業協力ボランティア参加の状況を踏まえて今後検討する事とする。</p> <p>③ 北方領土返還要求中央アピール行進 12 月 1 日開催の予定。</p> <p>④ 情報紙「北海道 "NOW"」の 毎月の発行・配布、「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道 "NOW" information」の掲載 北海道情報ラックに北海道情報を配布 (毎月)</p> <p>⑤ 北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。「千島桜バッジ」の頒布を行う。北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。</p> <p>(4) 理事会等予定 (北海道倶楽部事務所及び WEB 会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>
<p>8 月 31 日 (書面理事会)</p>	<p>第 1 号議案 役員辞任、委嘱の件</p> <p>第 2 号議案 新入会員審査の件ほか (会員の入・退会、会員の推移)</p> <p>第 3 号議案 対面型公益事業 (「交流の夕べ」) 実施の件</p> <p>(1) 日時：8 月 4 日 18 時～ 20 時 場所：銀座ライオンクラシックホール 当日実参加者数 61 人 (2019 年のコロナ前は 105 人)</p> <p>(2) 新型コロナウイルスの 5 類変更後初めて対面型公益事業を実施。久方ぶりに似鳥昭雄評議員が出席し、初めて池田拓浦河町長が出席された。</p> <p>第 4 号議案 対面型公益事業 (「交流イベント」「講演会」「新年交礼会」) ほかの件</p> <p>(1) 講演会の件 上野 正三北広島市長にまちづくりについて講演依頼という前回理事会の件については、無償で講演をお願いするための書面を郵送予定。調整できなければ、「新幹線の札幌延伸と札幌駅前のまちづくりの最近の状況について」倶楽部会員の北海道旅客鉄道株式会社をお願いしてみる。</p> <p>(2) 10 月 第 57 回交流イベントの開催について 2019 年以前の形式に戻して開催したい。ただし、参加者の減少が予想されるため、会場、参加人員などを小規模に想定したうえ、費用節減の必要があると思われる。以下の想定を基本に検討したい。</p>

種 別	概 要
	<p>① 日程：10月24日18時～20時</p> <p>② 会場：明治記念館2階「蓬莱」463㎡（従来の富士の間全室835㎡）立食形式</p> <p>③ 会費：15千円</p> <p>④ 想定収入：120人×15,000円＝1,800,000円</p> <p>⑤ 会合費等支出想定：1,700,000円（会場支払い100人分食事発注、見積書）+340,000円 （その他費用：会場支払い費用の20%）＝2,040,000円</p> <p>⑥ 差引収支△240,000円（8/4交流の夕べでの剰余金見合い）</p> <p>⑦ 事前申し込み、振込支払い制。</p> <p>⑧ 従来は受付・賞品受け渡しについて実行委員会を組成し実行委員にお願いし、当日の飲食（打ち上げを含む）は無償としていたが、今回は当日有償参加の方の中からお願いした実行委員に受付・賞品受け渡しをお願いし打ち上げもしない。当日の司会も外注せず事務局で対応。</p> <p>⑨ 事業部会の検討を経ず事業部会長と打ち合わせのうえ事務局で企画し実施させていただく。</p> <p>(3) 1月新年交礼会</p> <p>① 立食形式で開催を検討する。収支相償を目標とする。</p> <p>② 日程など事業部会長との検討を始めたい。</p> <p>第5号議案 その他（報告、承認事項）の件</p> <p>(1) 寄附金の状況（令和5年8月25日現在）</p> <p>① R4年実績 91人、2,809,000円 R5年予算 3,190,800円</p> <p>② 応募79人、2,857,000円 入金者数78人、入金実績2,827,000円</p> <p>(2) キャンペーンの状況（令和5年8月25日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 1,184個・201,000円／45,190個・7,475,463円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 147個・26,750円／3,546個・712,670円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 5個・1,250円／3,459個・583,608円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況 本年度頒布数／同累計・金額 0枚・0円／482枚・388,600円</p> <p>(3) 今後の予定ほか 北方領土 ビザ無し交流ほか 中止との連絡を受けている。間瀬さん（評議員会議長・元北対協理事長）と対応を検討することとしたい。</p> <p>(4) 前回理事会の検討事項だった次期事務局長募集については会報8月号に募集記事を掲載した。あまり応募はないが適切な対応を模索している。</p> <p>(5) 後援名義使用許可 ふるさと会連合会からの代々木フェアについての「後援名義使用承認願ひ」に許可を出した。</p>



種 別	概 要
	(6) 理事会等予定
10月19日 理事会(評議員会)	<p>第1号議案 交流イベントの件 「第57回交流イベント」は10月24日明治記念館2階「蓬莱」で立食形式により予定通り開催。従来の「実行委員会」での開催を事務局主体のスタッフで行うこととし経費削減に努める。次回の理事会で結果報告をする。</p> <p>第2号議案 倶楽部運営について、事務局体制の変更の件 倶楽部の今後に向け今まで種々の議論を行ってきた。直近では6月15日の理事会で倶楽部の財政や次期事務局長募集について検討した。これを踏まえ、別表「事務局新体制移行について」に関し川村会長及び関係事務局員の了解を得られたので、一部は事後承認になるが、悪しからずご承認ください。</p> <p>第3号議案 定款付属規程の改訂の件(別紙参照) 前号の事務局体制を支援するため、定款付属規程第6条に第2項(下記)を追加する。 「2 業務執行理事は必要により事務局長の業務を補佐する。この場合、当該業務執行理事は事務局長と称することができる。」</p> <p>第4号議案 新入会員審査、会員の状況の件</p> <p>第5号議案 その他(報告承認事項)の件</p> <p>(1) 倶楽部の公益事業(行事) 講演会の開催 6月理事会の小池副会長提案の北広島市長の講師を打診している。</p> <p>(2) 寄附金の状況(令和5年10月16日現在) 応募79人、2,857,000円 入金者数78人、入金実績2,827,000円</p> <p>(3) キャンペーンの状況(令和5年10月16日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 1,240個・215,000円/ 45,246個・7,489,463円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 155個・28,750円/ 3,554個・714,670円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 5個・1,250円/ 3,459個・583,608円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況 本年度頒布数/同累計・金額 0枚・0円/ 482枚・388,600円</p> <p>(4) 北方領土返還要求中央アピール行進(12/1) 1市4町で構成する北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会が主催する「北方領土返還要求中央アピール行進」予定。</p> <p>(5) 令和6年新年交礼会の件 令和5年は着席方式での開催だったが令和6年は立食形式での開催を計画。ニューオータニで参加費15千円/人、日程1月26日(金)予定。</p> <p>(6) 来年度の事業計画、予算の提出 12月末まで(令和5年を基に次回理事会で決定。)内閣府宛に提出。</p> <p>(7) 理事会等予定 (北海道倶楽部事務所及びWEB会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>



種 別	概 要
<p>12月21日 理事会(評議員会)</p>	<p>第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件(別紙参照)</p> <p>定款第50条の定めにより、毎事業年度開始前までに理事長が作成し、理事会の承認を得て翌事業年度開始前までに行政庁に提出し、会員総会に報告するとされている。以下の通りご承認下さい。(「第1号議案 別紙 令和6年度事業計画及び収支予算並びに資金調達設備投資の見込みの件」参照)</p> <p>(1) 事業計画書について 別紙(「別紙 令和6年度事業計画書」)の通り、令和6年度の事業計画を作成した。基本的に前年の事業計画書に準じ作成した。(新型コロナウイルスの種々の影響が残り収支の悪化も懸念される。)</p> <p>(2) 収支予算書について 令和5年度の仮決算(「別紙 令和5年度仮決算」)を踏まえ、令和6年度事業計画を遂行するため別紙(「別紙 令和6年度収支予算書」)の通り、令和6年度収支予算を作成した。</p> <p>(3) 資金調達及び設備投資の見込み 別紙「資金調達及び設備投資の見込み」の通り。</p> <p>第2号議案 令和5年度事業報告等の作成、総会日程の方針について</p> <p>(1) 令和5年度の「事業報告」等は前年に準じて作成し、その後監査を受け、2月理事会で承認後直ちに「定時会員総会招集通知、議案」を発送し(総会の2週間前)、3月の定時会員総会で報告・承認を得ることとする。</p> <p>(2) 今総会は役員(理事、監事)選任の議案が提出予定。2月理事会で総会議案において推薦する役員候補を決定する。</p> <p>(3) 評議員、相談役、顧問及び参与も定時会員総会終結時に任期終了となる。後任は上記改選後の理事会の推薦により、理事長が委嘱する。</p> <p>第3号議案 講演会の開催及びアピール行進参加について</p> <p>(1) 第57回交流イベント(旧道産子の会)開催について 交流イベントは「明治記念館」で、10月24日(火)18時に開催した。会場は前回より小さな場所に変更したが、約130人が参加し、倶楽部のキャンペーンは盛会にて終了した。本年度の3イベント(新年交礼会・交流の夕べ・交流イベント)の直接収支(事務局人件費を除く)の合計は5,100円の収入超過だった。</p> <p>(2) 令和5年度の講演会の開催について 上野正三北広島市長の日程の都合上令和6年2月の開催となる見込み。このため、令和5年の講演会開催は見送る。(以下の予定で調整中。)</p> <p>① 日時：2024年2月9日(金)11:30～12:30 1時間程度 ② 場所：アイオス永田町会議室(倶楽部事務所の2階) ③ 申込方法：先着順申込 広くどなたでも申し込み、参加費用無料 ④ 仮題：「北海道ボールパークFビレッジ」と街づくり ⑤ 講師：上野正三 北広島市長</p> <p>(3) 「北方領土返還要求中央アピール行進」(12月1日)に参加</p>

種 別	概 要
	<p>北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会の主催する行進に、川村会長、本間副理事長、間瀬評議員会議長、北本事務局次長で参加した。(総参加者は元島民をはじめ全国から約 500 人) 日比谷野外音楽堂から鍛冶橋まで約 1.6 キロをシュプレヒコールを行い行進した。</p> <p>第 4 号議案 新入会員審査の件、会員数について</p> <p>第 5 号議案 「北海道の市と町と村をご紹介」WEB 版発行について</p> <p>標記の小冊子 WEB 版を 12 月 1 日付で発行し、倶楽部の HP に掲載する。2023 年 1 年間に北海道 "NOW" に掲載した 21 市町村で、再度北海道と各市町村の校正を経て完成した。予算の関係で本年も WEB 版の発行となった。事務局内製化により、外注の費用は掛かっていない。</p> <p>第 6 号議案 その他報告事項</p> <p>(1) 事務局長退任の件</p> <p>本間修事務局長は、令和 5 年 12 月 31 日をもって、約 17 年間勤めていた事務局長の職を退任する。副理事長兼常務理事は継続する。後任は事務局職員の西村由紀子が事務局長となる。</p> <p>(2) 寄附金の状況</p> <p>① 令和 5 年度予算 319.08 万円</p> <p>② 12 月 11 日現在実績 284.7 万円、79 人</p> <p>③ 令和 6 年度寄附金のお願い・募集発送は 3 月開始の予定。</p> <p>④ 税額控除の適用となる。</p> <p>(3) 会費の入金状況</p> <p>① 令和 5 年度予算 595.5 万円 (内訳 正会員 166.5 万円 維持会員 429 万円)</p> <p>② 12 月 11 日現在実績 597 万円 (内訳 正会員 159 万円 維持会員 438 万円)</p> <p>③ 令和 6 年度会費 (1 月～12 月分) の請求は 4 月の予定。</p> <p>(4) ブラウンリボンバッジの状況</p> <p>本年度 (12/11 現在) 1,366 個、累計 45,372 個</p> <p>(5) 千島桜バッジの状況</p> <p>本年度 (12/11 現在) 213 個、累計 3,612 個</p> <p>(6) 北海道新幹線バッジの状況</p> <p>本年度 (12/11 現在) 7 個、累計 3,461 個</p> <p>(7) ちぎれ千島に雲がとぶ (CD) の状況</p> <p>本年度 (12/11 現在) 0 枚 累計 482 枚</p> <p>(8) 令和 6 年新年交礼会開催予定 (立食形式)</p> <p>令和 6 年 1 月 26 日 (金) 18 時 ホテルニューオータニ 麗の間 会員以外の一般の参加者にも広く呼びかけ北海道のためのキャンペーン等の年初事業として開催予定。</p> <p>(9) 理事会・評議員会・定時会員総会等の予定 (北海道倶楽部事務所及び WEB 会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>

種 別	概 要
<p>1. キャンペーン推進のための事業 (1) 新年交礼会 1月27日</p>	<p>1月27日(金) 18時 ホテルニューオータニ「麗の間」会費1万5千円 新型コロナウイルス感染防止のため着席により約80名の参加で、キャンペーン「北方領土返還」「地域活性化・ふるさと納税」「北海道新幹線早期実現」をテーマに新年交礼会を開催した。(次第、写真及び会報記事参照)</p>  <div data-bbox="1023 163 1485 629" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">We Love Hokkaido</p> <h3 style="text-align: center;">令和5年新年交礼会</h3> <p>「ちぎれ千島に雲が飛ぶ(森繁久弥)」の後 1. 開会の辞(18時) キャンペーンについて 北海道倶楽部会長 川村 隆</p> <p>2. 国会議員・自治体・ふるさと会ご紹介</p> <p>3. 乾杯(18時15分) (会長) 川村 隆 (副会長) 大久保 尚武 (理事) 村上 隆博(代表) 鈴木 秀一 本間 修 (理事) 橋本 隆 岡村 進 渡野 正明</p> <p>4. 自治体ご挨拶・広報(18時35分まで20分以内) ・夕張市 市長ご挨拶 広報 ・北海道 東京事務所長挨拶 広報</p> <p>5. ショートスピーチ・懇談(18時35分) 全員から自己紹介・近況など積極的な発言を聞きます。それぞれ1分程度でお話します。</p> <p>6. 中締め 20時 間瀬 雅晴(評議員会議長)</p> <p style="text-align: center;">令和5年1月27日(金) 18時~20時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">We Love Hokkaido</p> <p style="text-align: center;">北方領土返還・地域活性化 ふるさと納税・北海道新幹線早期実現 キャンペーン</p> <p style="text-align: center;">北海道 早期実現 新幹線 ブラウン リボンバッジ 北方領土返還 千島桜 シンボルバッジ 北方領土返還 地域活性化 ふるさと納税</p> <p style="font-size: small;">※ お傍りに「ふうれん田舎餅」(豆餅)をお土産用にご用意しております。是非お持ち帰り下さい。</p> </div> </div>
<p>(2) 令和5年北方領土返還要求全国大会 2月7日</p>	<p>当倶楽部も一員となっている大会実行委員会の主催により2月7日の北方領土の日に東京・千代田区の国立劇場で3年ぶりに有観客でリアル開催された。岸田首相を迎えて元島民代表や全国の返還要求運動団体代表者ら1000人が参加し、倶楽部からも間瀬評議員会議長、本間修副理事長兼常務理事ら会員8人が参加した。</p> 
<p>(3) 交流の夕べ 8月4日</p>	<p>北海道倶楽部主催の「交流の夕べ」が8月4日夜、東京・銀座で開かれた。新型コロナウイルス感染症の「5類」移行に伴い2019年以来、4年ぶりに立食形式となった。川村隆会長の挨拶の後、評議員のニトリホールディングスの似鳥昭雄会長が「北海道のために」の題目でショートスピーチを行った。続いて上田晃弘北海道東京事務所長と池田拓浦河町長から祝辞をいただいた。この後、約60人の参加者らは食事を楽しみながら懇談した。(次第、写真及び会報記事参照)</p>  <div data-bbox="1054 1335 1469 1883" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">公益社団法人北海道倶楽部</p> <h3 style="text-align: center;">第25回 交流の夕べ</h3> <p style="text-align: center;">令和5年 8月4日(金) 銀座クラシックホール</p> <p>次 第 (開始18時00分 開始前に森繁久弥さんの「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」を流します。)</p> <p>1. 会長挨拶 川村 隆(会長)</p> <p>2. 北海道のために 似鳥 昭雄(評議員ニトリホールディングス代表取締役会長)</p> <p>3. 祝辞 上田 晃弘 様(北海道東京事務所長) 池田 拓 様(浦河町長)</p> <p>4. 国会議員、自治体ほか ご紹介(名簿)①記載の通り 敬省略</p> <p>5. 新入会会員ご紹介 (名簿)①記載の通り 敬省略</p> <p>6. 乾杯(18:20) 大久保 尚武(副会長)</p> <p>7. 懇談 (名刺交換を積極的に行って頂きますようお願いいたします。)</p> <p>8. 抽選会(19:00) 鈴木秀一(副理事)、千葉豊音(評議員会議長代理 乙部正隆)</p> <p>9. 中締め(〜20:00) 間瀬 雅晴(評議員会議長)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">夕張市に支援を!!</p> <p style="text-align: center;">We Love Hokkaido</p> <p style="text-align: center;">北方領土返還・ふるさと納税・北海道新幹線早期実現 キャンペーン</p> <p style="text-align: center;">北海道 早期実現 新幹線 ブラウン リボンバッジ 北方領土返還 千島桜 シンボルバッジ 北方領土返還 地域活性化 ふるさと納税</p> </div> </div>

種 別	概 要
<p>(4) 交流イベント 10月24日 (旧道産子の会)</p>	<p>北海道倶楽部が取り組む「北方領土返還運動推進」などキャンペーンの推進を目的とした、「第57回交流イベント」が10月24日夜、東京・港区の明治記念館で開かれた。コロナ禍で、開催は2019年以來4年ぶり。会員、会員外を含め約150人が参加した。</p> <p>川村隆会長兼理事長の開会の辞に続いて、上田晃弘北海道東京事務所長のご挨拶。その後、出席した国会議員や、道内自治体関係者らが次々に紹介された。倶楽部の大久保尚武副会長が乾杯の音頭をとり、参加者は会話を弾ませた。パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) の若手演奏家がイベント開始前と乾杯後のアトラクションで演奏し、参加者を魅了した。懇親会では恒例の福引抽選会も復活し、イベントを盛り上げた。御協賛社は49社に上った。また、会場の一角にはかつてビザなし交流で北方領土を訪れた会員らが撮った、数多くの写真が展示された。(次第、写真及び会報記事参照)</p> <div data-bbox="1002 152 1485 591" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">令和5年10月24日 北海道帰郷キャンペーン・新幹線車中販売 北海道東京事務所 本館と納税・北方領土返還</p> <p style="text-align: center;">第57回交流イベント次第</p> <p style="text-align: right;">18時17分 受付開始 18時45分 開会挨拶 (PMF) 演奏会 (高橋雅晴)</p> <p>一、開会の辞 (倶楽部会長挨拶) 倶楽部会長 川村 隆</p> <p>二、北海道ご挨拶 北海道東京事務所長 上田晃弘様</p> <p>三、政党、国会議員、北海道、市町村ご紹介 四、乾杯 発声 副会長 大久保尚武</p> <p>五、懇親会 18時30分・PMF演奏 18時40分</p> <p>六、福引抽選 (19時 副理事長 鈴木秀一) 一部 高額賞品福引 二部 事前抽選 (当選番号一覧表掲示)</p> <p>七、中締め 評議員会 間瀬雅晴</p> <p style="text-align: right;">散会 (20時)</p> </div> <div data-bbox="443 954 751 1189"> </div> <div data-bbox="762 954 1070 1189"> </div> <div data-bbox="1098 954 1469 1189"> </div>
<p>(5) 北方領土返還要求中央アピール行進 参加 12月1日</p>	<p>根室管内5市町でつくる「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」(北隣協)の主催。1945年に当時の根室町長が領土返還を陳情したことにちなんだ「返還要求運動原点の日」の12月1日に毎年開催しており、今年で16回目となった。今年の行動には、根室管内出身者をはじめ、各都道府県の返還運動関係者ら約500人が参加した。参加者らは日比谷野外音楽堂から鍛冶橋まで約1.6kmをデモ行進した。北海道倶楽部からも川村隆会長、本間修副理事長、間瀬雅晴評議員会議長ら4人も参加した。</p> <div data-bbox="1074 1391 1485 1697"> </div>
<p>2. キャンペーン (1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーン</p>	<p>1) 北海道 "NOW" (情報紙・会報) に自治体紹介 地域振興等キャンペーンに資するため、平成28年3月号から北海道と協議し1号あたり2自治体の紹介を掲載しているが、今年度はオホーツク総合振興局、宗谷総合振興局、日高振興局内の合計21市町村を順次掲載した。</p> <p>2) 北海道 "NOW" インフォメーションに掲載 地域振興等キャンペーンに資するため、北海道等が主催・共催・後援する事</p>

種 別	概 要
	<p>業を本年度は、下記の広報記事を掲載し広報した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市の冬季オリンピック・パラリンピック招致 ・胆振地域のワーケーション ・パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌公演 ・根室振興局の取組 ・夕張市のふるさと納税 ・映画「北の流水」ふるさと納税（浦河町・様似町・えりも町・広尾町） ・北海道のふるさと納税（水産物、取組） ・ウポポイ（民族共生象徴空間） ・北方領土問題への北海道の取組 <p>3) 「北海道の市と町と村をご紹介 Vol.5」WEB 版発行</p> <p>今年度の1年間に北海道 "NOW" に掲載したオホーツク総合振興局、宗谷総合振興局、日高振興局内の合計 21 市町村を再録し、地域振興等キャンペーンに資するため、小冊子 WEB 版（86 頁）として 12 月 1 日付で発行し、倶楽部の HP に掲載した。WEB ならではの便利な機能（しおり、リンク）も付加した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>4) 夕張市振興へ協力</p> <p>8 月の「交流の夕べ」で夕張振興を訴え、「夕張メロン」を参加者にお土産として提供し、夕張市の「ふるさと納税」のパンフレットを配布するなどの支援イベントを行った。</p>
<p>2) 北方領土返還推進 「ブラウンリボン バッジ」「千島桜 バッジ」キャンペーン</p> 	<p>1) ブラウンリボンバッジについて</p> <p>北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行し、それを後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠で、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大し、その輪をさらに 広げることが必要である。そのために、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要がある、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動をキャンペーン事業として推進するものである。</p> <p>ブラウンリボンバッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2010 年 1 月)</p> <p>配布バッジ数累計 45,372 個（無料分を含む）（うち本年度配布 1,366 個） 収入総額 7,514,713 円（発注バッジ総数 43,588 個、発注総額 4,256,157 円）</p>

種 別	概 要
	<p>2) 千島桜バッジについて 「シンボルの花」</p> <p>北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、誰もが親しみやすく身近に感じる「花」を選び、北方領土啓発資材等に「花」をモチーフにしたイラストを使用して、北方領土問題の一層の啓発を図るとともに世論の結集に務めることを目的に広く道内から公募された。倶楽部は道からの呼びかけにより 2013 年 9 月 5 日より千島桜バッジの頒布を開始した。</p> <p>千島桜バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2013 年 9 月) 配布バッジ数累計 3,612 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 213 個) 収入総額 725,420 円 (発注バッジ総数 4,000 個、発注総額 304,426 円)</p> <p>3) 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の CD 配布</p> <p>北方 4 島の思いを、故森繁久彌さんが作詞し歌った上記 CD を、北方領土返還運動に役立ててくださいという、次男の建さんのご厚意で有料配布している。(送料込み千円) 累計 482 枚、本年度 0 枚 (無料分を含む) 累計収入金額 388,600 円 本年度収入金額 0 円</p>
<p>(3) 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</p> 	<p>1) 北海道新幹線早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布した。</p> <p>2) 趣旨：北海道新幹線をより早期に実現するためには、「日常会話に登場する北海道新幹線早期実現推進運動」をする必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。</p> <p>3) 早期実現「新幹線」バッジについて</p> <p>絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25 mm サイズのピンバッジである。色は北海道新幹線のイメージ緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2010 年 8 月) 配布バッジ数累計 3,461 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 7 個) 累計収入総額 584,108 円 (発注バッジ総数 6,000 個、金額 675,675 円) (北海道新幹線(新青森-新函館北斗間)は、平成 28 年 3 月 26 日に開業。札幌延伸は平成 24 年 6 月工事实施計画が認可され、2030 年度末開業予定。)</p>
<p>3. キャンペーン推進のためのメディア事業</p> <p>(1) 北海道情報紙「北海道 "NOW"」の配布</p>	<p>北海道情報紙「北海道 "NOW"」の配布</p> <p>本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第 776 号から第 786 号まで 1000 部印刷し発行 (毎月 1 日、ただし 2 月 1 日号は休刊)</p> <p>会員以外への配布もおこなった。(北海道情報ラック) HP にも掲載している。WEB 版として HP 上に掲載することにより、会員外も自由に無料でアクセス</p>

種 別	概 要
	でき、様々な読者層にアピールすることができる。
<p>(2)「北海道の市と町と村をご紹介」</p> <p>(3) 北海道情報ラック設置</p> <p>(4) 倶楽部ホームページ対応</p>	<p>前掲2.(1)-3) の通り WEB 版発行。</p> <p>1 1カ所（レストラン、店舗等）設置 北海道関連のパンフレット（「北海道”NOW”」の紹介頁の市町村などのもの） 北海道情報紙「北海道”NOW”」などを毎月送付し、無償配布。</p> <p>1) 倶楽部の公益事業の対外的広報のため、内容の更新に務めた。 イベント等の参加申込、終了報告、リモートワークでの事務局体制の通知、その他報告事項など更新を行った。</p> <p>2) 倶楽部 HP に中止となったイベントの代替としての「特設ページ」の運営の見直し コロナが5類に移行となり、イベントも対面、立食形式での開催が再開となったため、「特設ページ」の更新運用はひとまず停止とする。 経過報告の意味で保存し、閲覧は可能とする。</p>
<p>4. 協賛・後援名義の付与など</p>	<p>1) 「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」 川村会長が顧問に就任中。交流イベントで演奏披露頂く。</p> <p>2) 北海道が推進する「北海道・ロシア地域間協力チーム」に参加中。（情報収集）</p> <p>3) ふるさと会連合会「第27回産直フェア」（代々木フェア）</p> <p>4) ほっかいどう応援団会議参加中。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

令和5年度 会員異動状況

(令和5年12月末現在)

		令和4年度末	内 容			令和5年度末
			増	減	差引	
単位						
維持会員	社数 (社)	104	1	6	△ 5	99
	口数 (口)	157	1	11	△ 10	147
	登録会員数 (名)	208	29	42	△ 13	195
正会員数 (名) <small>(名誉会員1名を含む)</small>		120	9	12	△ 3	117
個人会員数 合計 (名)		328	38	54	△ 16	312

損益計算書（正味財産増減計算書）

令和5年度損益計算書(正味財産増減計算書)

令和5年度 1月1日～12月31日

		公益事業会計	法人会計	[T]公益・法人 総計(合計)	前年度決算 令和4年12 月31日	決算増減 (令和5年-令 和4年)
・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用等は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。						
一般正味財産増減の部						
経常増減の部						
経常 収益 (収入)	(1)経常収益 [収入]					
	受取会費					
	(入会金)	17,500	17,500	35,000	10,000	25,000
	(正会員会費収入)	810,000	810,000	1,620,000	1,950,000	△330,000
	(維持会員会費収入)	2,190,000	2,190,000	4,380,000	4,620,000	△240,000
	事業収入					
	(広告収入)	908,000	0	908,000	2,234,000	△1,326,000
	(交流、キャンペーン等収入)	2,668,673	1,743,371	4,412,044	682,568	3,729,476
	受取寄附金(寄附・協賛金)	2,847,000	0	2,847,000	2,809,000	38,000
	受取利息	0	54	54	58	△4
雑収入	120	0	120	1,573	△1,453	
経常収入計(収入高合計)	9,441,293	4,760,925	14,202,218	12,307,199	1,895,019	
経常 費用 (事業 費・ 管理 費)	(2)経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費			
	給料手当	3,668,361	2,445,575	6,113,936	5,957,429	156,507
	法定福利費	293,450	195,633	489,083	489,647	△564
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000	75,000	0
	外注費	2,919,876	158,300	3,078,176	3,150,100	△71,924
	荷造運賃	36,995	4,800	41,795	0	41,795
	会議費	0	22,000	22,000	71,500	△49,500
	旅費交通費	214,586	15,624	230,210	4,810	225,400
	通信費	746,645	271,000	1,017,645	1,048,321	△30,676
	会合費	1,987,914	1,723,020	3,710,934	438,460	3,272,474
	消耗品費	226,097	137,921	364,018	434,302	△70,284
	修繕費	0	0	0	50,985	△50,985
	新聞図書費	135,087	0	135,087	113,700	21,387
賃借料	103,769	69,180	172,949	142,129	30,820	
雑費	428,855	107,073	535,928	296,868	239,060	
経常費用計(事業費・管理費計)	10,806,635	5,180,126	15,986,761	12,273,251	3,713,510	
当期経常増減額(事業損益金額)	△1,365,342	△419,201	△1,784,543	33,948	△1,818,491	
当期一般正味財産増減額(当期純損益金額)	△1,365,342	△419,201	△1,784,543	33,948	△1,818,491	
※一般正味財産期首残高		※	5,534,713	5,500,765	33,948	
一般正味財産期末残高			3,750,170	5,534,713	△1,784,543	
正味財産期末残高			3,750,170	5,534,713	△1,784,543	

※令和4年度決算の期末残高

貸借対照表

貸借対照表

(令和5年12月31日)

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	4,192,590	6,321,513	△2,128,923
貯蔵品	72,338	50,638	21,700
キャンペーン品	861,147	715,383	145,764
未収入金	0	108,000	△108,000
仮払金	0	70,123	△70,123
流動資産合計	5,126,075	7,265,657	△2,139,582
2. 固定資産			
什器備品	3,000	3,000	0
電話加入権	0	1	△1
固定資産合計	3,000	3,001	△1
資産合計	5,129,075	7,268,658	△2,139,583
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,361,331	76,891	1,284,440
仮受金	17,574	471,054	△453,480
流動負債合計	1,378,905	547,945	830,960
2. 固定負債			
退職給与引当金	0	1,186,000	△1,186,000
固定負債合計	0	1,186,000	△1,186,000
負債合計	1,378,905	1,733,945	△355,040
III 正味財産の部			
一般正味財産 (正味財産期末残高)	3,750,170	5,534,713	△1,784,543
正味財産合計	3,750,170	5,534,713	△1,784,543
負債および正味財産合計	5,129,075	7,268,658	△2,139,583

◎ 附属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目（引当金等明細）が無いため、作成しない。

財産目録

財産目録 (令和5年12月31日)

(単位円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	当年度	前年度	増減	
(流動資産)						
現金・預金		運転資金として	4,192,590	6,321,513	△2,128,923	
現金	現金手元有高		0	0	0	
預金	普通預金 みずほ銀行町村会館出張所1		683,979	4,061,817	△3,377,838	
預金	普通預金 北洋銀行東京支店		2,442,766	1,161,527	1,281,239	
預金	普通預金 北海道銀行東京支店		447,374	447,918	△544	
預金	定期預金 北洋銀行東京支店		200,000	200,000	0	
預金	定期預金 北海道銀行東京支店		100,000	100,000	0	
貯金	郵便振替預金		318,471	350,251	△31,780	
貯蔵品計		在庫として	72,338	50,638	21,700	
切手	事務所保管		59,140	30,082	29,058	バッジ対価の使用待ち切手
はがき	事務所保管		3,528	11,466	△7,938	
レターパック	事務所保管		9,670	9,090	580	バッジほか送付用
キャンペーン品計		在庫として	861,147	715,383	145,764	キャンペーン用バッジ等の在庫
ブラウンリボンバッジ	事務所保管		181,374	283,678	△102,304	
千島桜バッジ	事務所保管		297,633	48,802	248,831	
CD	事務所保管		86,360	86,360	0	
新幹線バッジ	事務所保管		295,780	296,543	△763	
未収入金			0	108,000	△108,000	
仮払金			0	70,123	△70,123	
流動資産合計			5,126,075	7,265,657	△2,139,582	
(固定資産)						
什器備品計			3,000	3,000	0	
絵画 西村計雄 「ハイデルベルヒ'63」	事務所保管 (会議室展示)		1,000	1,000	0	
絵画 西村貴久子 「流水」	事務所保管 (会議室展示)		1,000	1,000	0	
絵画 岩船修三 「白鳥」	事務所保管 (会議室展示)		1,000	1,000	0	
電話加入権		備忘価額	0	1	△1	本年度処理
固定資産合計			3,000	3,001	△1	
資産合計			5,129,075	7,268,658	△2,139,583	
(流動負債)						
未払金			1,361,331	76,891	1,284,440	後納郵便代ほか
仮受金計			17,574	471,054	△453,480	雇用保険名刺広告ほか
内 雇用保険			9,574	6,054	3,520	
流動負債合計			1,378,905	547,945	830,960	
(固定負債)						
退職給付引当金			0	1,186,000	△1,186,000	
固定負債合計			0	1,186,000	△1,186,000	
負債合計			1,378,905	1,733,945	△355,040	
正味財産合計			3,750,170	5,534,713	△1,784,543	
負債および正味財産合計			5,129,075	7,268,658	△2,139,583	

◎ 附属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目(引当金等明細)が無いため、作成しない。

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書(間接法) (令和5年12月31日) (単位円)

1月1日~12月31日

加算減算項目	計算項目	同左 加算減算
当期純損益金額 (当期正味財産増減額)	△ 1,784,543	△ 1,784,543
貯蔵品(増減)	21,700	△ 21,700
キャンペーン品(増減)	145,764	△ 145,764
未収入金(増減)	△ 108,000	108,000
仮払金 (増減)	△ 70,123	70,123
固定資産 (増減)	△ 1	1
未払金 (増減)	1,284,440	1,284,440
仮受金 (増減)	△ 453,480	△ 453,480
退職給与引当金(増減)	△ 1,186,000	△ 1,186,000
	キャッシュフロー	△ 2,128,923

科 目	当年度	前年度
現金・預金	4,192,590	6,321,513

増減
△ 2,128,923

計算書類に対する注記, 附属明細書

計算書類に対する注記、附属明細書

1 重要な会計方針ほか

(1) 公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し損益計算書（正味財産増減計算書）を作成した。

会費収入は、原則公益事業会計に配賦した。ただし、その50%を法人会計に配賦した。

(会費規程第6条適用) 公益社団法人北海道倶楽部会費規程 (会費の用途)

第6条 原則として、入会金及び年会費は公益目的事業に係る収益とするが、入会金及び年会費の総額の50%を限度に管理業務に必要な費用の額として管理業務に係る収益に充当する事が出来る。

(2) イベントの交流、キャンペーン等収入は当該イベント事業費支出の公益事業会計と法人会計の支出割合で配賦した。

(3) 寄附金は公益事業会計に配賦した。

(4) イベント会場に支払う飲食・会場費は60%を公益事業会計に配賦し、会場に持込使用する酒類、土産類は法人会計に計上した。

(5) 通信費の内、電話、FAX及びインターネット費用は使用割合により、公益事業会計に配賦した。他は個別に配賦した。

(6) 下記の通り、上記配賦基準により公益事業会計と法人会計に配賦した。

科目	総額	公益事業会計配賦額	法人会計配賦額	配賦基準	公益事業会計配賦割合
入会金	35,000	17,500	17,500	公益収益割合	50%
正会員会費収入	1,620,000	810,000	810,000	公益収益割合	50%
維持会員会費収入	4,380,000	2,190,000	2,190,000	公益収益割合	50%
広告収入	908,000	908,000	0	個別配賦	100%
北海道NOW 広告	908,000	908,000	0	個別配賦	100%
会員名簿広告	0	0	0	個別配賦	0%
交流、キャンペーン等収入	4,412,044	2,668,673	1,743,371		
交流、キャンペーン等収入 内 新年交礼会会費等収入	4,255,000	2,511,629	1,743,371	事業費支出割合	59.028%
交流、キャンペーン等収入 内 ハッジ等収入	157,044	157,044	0	個別配賦	100%
寄附・協賛金	2,847,000	2,847,000	0	個別配賦	100%
受取利息	54	0	54	個別配賦	0%
雑収入	120	120	0	個別配賦	100%
合計	14,202,218	9,441,293	4,760,925		

給料手当	6,113,936	3,668,361	2,445,575	従事割合	60%
法定福利費	489,083	293,450	195,633	従事割合	60%
退職給付繰入額	75,000	45,000	30,000	従事割合	60%
外注費	3,078,176	2,919,876	158,300		
外注費 広報紙等メディア関連分	2,756,676	2,756,676	0	個別配賦	100%
外注費 事務局業務委託	272,000	163,200	108,800	個別配賦	60%
外注費 総会議案印刷等	49,500	0	49,500	個別配賦	0%
荷造運賃	41,795	36,995	4,800		
荷造運賃 資料送付等運搬	4,800	0	4,800	個別配賦	0%
荷造運賃 イベント土産等運搬	36,995	36,995	0	個別配賦	100%
会議費	22,000	0	22,000	個別配賦	0%
会議費 総会議室賃貸料	22,000	0	22,000	個別配賦	0%
旅費交通費	230,210	214,586	15,624		
旅費交通費 公益事業分	191,150	191,150	0	個別配賦	100%
旅費交通費 公益・法人会計振分対応分	39,060	23,436	15,624	個別配賦	60%
通信費	1,017,645	746,645	271,000		
通信費 公益事業分	633,614	633,614	0	個別配賦	100%
通信費 理事会等法人会計対応分	195,646	0	195,646	個別配賦	0%
通信費 電話、インターネット 公益・法人会計振分対応分	188,385	113,031	75,354	使用割合	60%
通信費 郵便 公益・法人会計振分50:50対応分	0	0	0	使用割合	50%
会合費	3,710,934	1,987,914	1,723,020		
会合費 法人会計対応分(土産、酒類ほか)	1,723,020	0	1,723,020	個別配賦	0%
会合費 会場支払分等	1,987,914	1,987,914	0	対応の割合	60%
消耗品費	364,018	226,097	137,921		
消耗品費 公益事業分	22,489	22,489	0	個別配賦	100%
消耗品費 理事会等法人会計対応分	2,182	0	2,182	個別配賦	0%
消耗品費 公益・法人会計振分対応分	339,347	203,608	135,739	使用割合	60%
新聞図書費	135,087	135,087	0	個別配賦	100%
賃借料(事務所使用料)	172,949	103,769	69,180	使用割合	60%
雑費	535,928	428,855	107,073		
雑費 公益事業分	317,840	317,840	0	個別配賦	100%
雑費 法人会計対応分	33,064	0	33,064	個別配賦	0%
雑費 公益・法人会計振分対応分	185,024	111,015	74,009	使用割合	60%
合計	15,986,761	10,806,635	5,180,126		

(7) 退職給付繰入額（退職給与引当金）は要支給額の100%を計上している。

(8) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

2 流動資産・流動負債と差額

科目	当期末残高	前期末残高	期中増減
現金・預金	4,192,590	6,321,513	△2,128,923
その他流動資産	933,485	944,144	△10,659
流動資産合計	5,126,075	7,265,657	△2,139,582
その他流動負債	1,378,905	547,945	830,960
流動負債合計	1,378,905	547,945	830,960
差額	3,747,170	6,717,712	△2,970,542
参考(固定資産・固定負債)			
固定資産	3,000	3,001	△1
固定負債	0	1,186,000	△1,186,000
差額	3,000	△1,182,999	1,185,999
正味財産合計	3,750,170	5,534,713	△1,784,543

3 公益社団法人北海道倶楽部 基本退職金引当管理表（附属明細書）

(就業規則第16条1項:動続1年につき年俸月額給与の30%基本退職金を支給、月割り、1ヶ月未満の端数は1ヶ月)

退職給付繰入額 公益60% 法人40%で配賦

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
職員1名			
	250千円×30%	250千円×30%	250千円×30%
基準月額	250,000	250,000	250,000
引当額	75,000	75,000	75,000
引落額	0	0	0
累計額	1,111,000	1,186,000	1,261,000

令和6年2月15日

公益社団法人北海道倶楽部

代表理事 会長兼理事長 川村 隆殿

監査報告書

法令及び定款第23条に基づき、監事は理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

令和5年度の事業、会計報告につき、諸資料、帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ適法かつ適正であることを認めます。

理事の職務の執行は適法かつ適正に行われており、職務の執行において不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

公益社団法人北海道倶楽部

監事 澤野 正明 ⑩

監事 鐵川 照夫 ⑩

令和5年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

令和6年3月12日

公益社団法人 北海道倶楽部

代表理事 会長兼理事長 川村 隆⑩

令和6年度事業計画書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

種 別	概 要
令和6年度事業計画 1. 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響が完全に終息するまで、適切な配慮のもと、定款に定められた公益事業の推進を着実に進行。 ・公益事業の推進にあたって、新型コロナウイルスの影響を考慮するとともに、新型コロナウイルスの終息後を見据え社会状況や公益事業へ対応する新しいスタイルも検討する。 ・令和5年6月理事会第1号議案を踏まえ、事業を行うについて、会報などで会員等に協力をお願いする。この場合会員等から申し出のあった事業の内容(計画、推進方法、事業収支、予測される効果等)について、理事会の承認と支援のもと申し出をした会員等が主体的に事業を実施する。理事会はその事業について定款との適合性、事業収支の妥当性(収支相償など)等について総合的に検討のうえ判断する。
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の新体制移行を慎重に進め、順調に行われるように注力する。 ・新型コロナウイルスの影響により減少した会費収入や寄附金の収入増を目指し、公益事業の財源確保と収支健全化を目指す。 ・引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、組織・制度の検討を続ける。 ・当法人の諸活動に関し、定款、基本方針、コンプライアンス等の見地から随時検討、調整に務める。 ・理事会のリモート会議と対面での会議のハイブリッドな対応につとめ、評議員会、部会の活性化とともに基本方針に沿い会員参加型事業推進の定着に務める。 ・引き続き事務局業務のリモートワークに努める。
3. 公益事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道等の行政組織やボランティア、企業、団体などのタイアップによる公益事業活動の充実に務める。 ・昨年度の公益事業実施の成果と反省を今年度事業推進に活かす。 ・「北海道NOWのインフォメーション」頁などを活用し「企業、団体とのタイアップによる公益事業の推進体制」を研究する。 ・下記分野ごとに部会で随時具体的な公益事業を企画し推進する。
広報活動	<p>(1) 北海道等のための広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道NOW」(本紙年11回)を発行する。 ・引き続き、道内各自治体の紹介ページ(ふるさと納税なども紹介)を継続するとともに、HP版の発行の為の業務を続ける。 ・北海道のため「インフォメーション」の頁などで北海道等(行政や各種団体)の広報を行う。「インフォメーション」の頁の新しい活用方法を検討する。 ・「北海道NOW」の会員配布、北海道情報ラックでの配布を行う。 ・HPの活用や北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・継続して「北海道の市と町と村」の本年度版の刊行(WEB)を目指す。
地域活性化事業支援	<p>(2) 北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会(北海道と根室地域1市4町で構成)」、「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委

種 別	概 要
	員会」など、北海道等から依頼される地域視察、地域振興、イベント等に協力する。
北方領土返還運動	<p>(3) 北方領土返還運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。 ・北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・北方領土返還森繁久弥作詞・唄「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CDの頒布を行う。 ・北方領土返還の広報活動を情報紙「北海道 NOW」や各種イベントで実施する。 ・内閣府（含む倶楽部）などが実行委員会を構成している「北方領土返還要求全国大会」（2月7日、北方領土の日）に参加する。 ・根室市等が主催し全国70団体余が参加する「北方領土返還要求中央アピール行進」（12月1日、銀座行進）に参加する。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」（年11回）配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、交流イベントなど各種イベントや講演会などを通じて北方領土返還運動キャンペーンの広報活動を行う。
ふるさと納税	<p>(4) 北海道等へのふるさと納税等寄附の推進運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度も広報活動・情報発信に活動の主体をおく。北海道情報紙「北海道 NOW」での道内自治体のふるさと納税の紹介、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベント他で北海道等へのふるさと納税等寄附の推進キャンペーン活動を行う。
新幹線早期実現	<p>(5) 北海道新幹線早期実現運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」発行、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベントで北海道新幹線早期実現運動のキャンペーン・広報活動を行う。
北海道情報紙特別講演会の開催外部イベント等への参加	<p>(6) 上記各号の実施・推進にあたっては、下記的手法・方策等を総合的に適用し推進する。（一部重複・再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道 NOW」（本紙年11回）を発行する。 ・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・倶楽部の事業に関連したテーマで特別講演会を開催する。 ・北海道応援団会議に参加し協力する。
4. イベント開催による公益事業等の推進	<p>(1) キャンペーンなどの公益事業の推進を倶楽部主催のイベント開催の場を使い推進する。</p> <p>(2) 新年交礼会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月に開催の「新年交礼会」は倶楽部の公益事業の年度初めのスタートとする。 <p>(3) 交流の夕べ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月に開催する「交流の夕べ」は倶楽部の夏を乗り切る事業として開催する。 <p>(4) 交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道産子の会として倶楽部が古くから最大のイベントとしてきたもので、参加者が協力して、倶楽部の事業を共有化する最大のイベントである。

種 別	概 要	予定時期
別表 公益事業計画 時期別一覧表 ・イベント・講演会等はHPなどで会員外、一般へ参加案内します。 ・部会対応 事業内容の詳細は担当の部会で今後検討し実施します。 ・状況の変化で理事会で今後別途決議した場合は変更します。	新年交礼会 北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーン集会の年初スタート交流事業。	1月26日
	「北方領土返還要求全国大会」（北方領土の日） 「北方領土返還要求中央アピール行進」	(例年開催時期) 2月7日 12月1日
	交流の夕べ キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業。	(例年開催時期) 8月4日
	交流イベント 「We Love Hokkaido」(旧道産子の会) キャンペーン、公益事業の広報。	(例年開催時期) 10月予定
	講演会、シンポジウムの開催 当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。会員間の交流にも役立てるが、当然一般も参加出来、無料とする。 (講演テーマ、行政との協調などにより公共性のあるものとし、HPなどで一般参加を呼びかける。)	未定(講師、会場等のスケジュールによる)
	キャンペーンバッジ頒布 ・北方領土返還要求運動キャンペーン「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。 ・北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。	随時
	情報紙「北海道"NOW"」の発行・配布 倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道"NOW"」本紙年11回)を発行する。前年配布の成果を踏まえ、配布先・配布方法、編集内容、発行体制を整備。一般配布(有料 月額80円)有り。 「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道"NOW"information」を引き続き本年も掲載する。	毎月
	WEB版「北海道の市と町と村をご紹介」の発行 情報紙「北海道"NOW"」に連載している1年分の22の市町村情報をまとめ小冊子形式にして発行する。 HPで一般の無料閲覧が可能。	12月
	北海道情報ラックに北海道情報を配布 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに無料配布する。	
	ホームページでの広報 倶楽部、公益事業の広報のため、内容の充実・更新に務める。	毎月
その他 ・倶楽部内交流の同好会の活動に協力。(独立運営・独立会計、北星会(ゴルフ))	随時	

令和6年度収支予算書

<ul style="list-style-type: none"> ・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。個別部門の給料手当は各個別部門で負担した。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。 		公益事業会計	法人会計	[T]公益・法人総計(合計)
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
経常収益 (収入)	(1)経常収益 [収入]			
	受取会費			
	(入会金)	17,500	17,500	35,000
	(正会員会費収入)	810,000	810,000	1,620,000
	(維持会員会費収入)	2,025,000	2,025,000	4,050,000
	事業収入			
	(広告収入)	808,000	1,210,000	2,018,000
	(交流、キャンペーン等収入)	2,661,379	1,750,665	4,412,044
	受取寄付金(寄附・協賛金)	2,847,000	0	2,847,000
	雑収入	0	48	48
	120	0	120	
経常収入計(収入高合計)		9,168,999	5,813,213	14,982,212
経常費用 (事業費・管理費)	(2)経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費	
	給料手当	2,336,579	1,557,720	3,894,299
	法定福利費	30,308	20,205	50,513
	退職給付繰入額	0	0	0
	外注費	3,443,231	822,000	4,265,231
	荷造運賃	36,995	4,800	41,795
	会議費	1,100	22,000	23,100
	旅費交通費	189,574	10,056	199,630
	通信費	734,260	473,796	1,208,056
	会合費	1,987,914	1,723,020	3,710,934
	消耗品費	225,686	142,835	368,521
	修繕費	34,830	23,220	58,050
	新聞図書費	133,435	0	133,435
	賃借料	103,769	69,180	172,949
	雑費	390,088	80,496	470,584
経常費用計(事業費・管理費計)		9,647,769	4,949,328	14,597,097
当期経常増減額(事業損益金額)		-478,770	863,885	385,115
当期一般正味財産増減額(当期純損益金額)		-478,770	863,885	385,115
※一般正味財産期首残高			※	3,716,188
一般正味財産期末残高				4,101,303
正味財産期末残高				4,101,303

※令和5年度仮決算の期末残高

理事及び監事選任（選任決議事項）

その他

<p>理事及び監事の選任 次期理事・監事 (本総会決議事項) 任期 本総会終結後から、 本総会終結後2年以内 に終了する事業年度の うち、最終のものに関 する定時会員総会の終 結の時まで (令和8年3月までの 予定)</p>	<p>現在の理事及び監事は本会員総会終了時に全員任期が終了となります。 定款第21条第1項により、本会員総会の決議により選任すべき理事及び監事 については、以下の候補者を理事及び監事に選任頂きますようにお願いします。</p> <p>(1) 理事の候補者 再任（重任） 川村隆、大久保尚武、小池明夫、鈴木秀一、本間修、岡村進 新任 阿部 修平 札幌市出身、北海道倶楽部正会員（2022年入会） スパークス・グループ株式会社 代表取締役社長 有末 真哉 東京都出身、北海道倶楽部正会員（2017年入会） 間瀬 雅晴 横浜市出身、北海道倶楽部正会員（2009年入会）</p> <p>(2) 監事の候補者 再任（重任） 鐵川照夫 澤野正明</p>
<p>その他参考事項</p>	<p>本総会終了後最初の理事会（書面）決議について 定款第21条第2項に定める、理事の中より理事会の決議により定めること とされる、会長1名、副会長若干名、理事長1名、副理事長若干名及び常務理 事1名は標記理事会で定める予定です。 なお、定款第22条第5項の定めで、会長及び理事長は一般法人法第91条 第1項第1号に定める代表理事、副会長、副理事長及び常務理事は同第2号 に定める業務を執行する理事とされます。</p> <p>本会員総会終了時に全員任期が終了となる「評議員」及び「相談役ほか」の選 任について ・定款第24条第2項により、正会員若しくは登録会員の中から理事会の推薦 により、理事長が委嘱する50名以内の「評議員」についても本総会後開催さ れる理事会で推薦され総会開催日に遡って委嘱される予定です。 ・定款25条に係る「名誉会長、相談役、顧問及び参与」も標記理事会で推薦 され総会開催日に遡って委嘱される予定です。 ・定款第39条第2項により、会員のうちから理事会が選任する「部会の構成員」 は別途、本総会後に開催される理事会で決議が行われる予定です。</p>

公益社団法人北海道倶楽部 令和5年度定時会員総会招集通知

正会員、維持会員 各位

公益社団法人北海道倶楽部
代表理事 会長兼理事長 川村 隆

公印省略

令和5年度定時会員総会を下記の通り行いますので、お忙しいところ恐縮ですがご参加下さい。

記

開催日時：

令和6年3月12日12時30分より（約1時間の予定。12時10分開場。昼食の用意はありません。）

開催場所：

永田町ほっかいどうスクエア2階会議室（北海道倶楽部事務所の2階、貸会議室なので開場前に入れません。）

千代田区永田町2-17-17、03-3581-4021(北海道倶楽部の電話番号)

議事に付すべき事項：

別紙「令和5年度定時会員総会 議案」の通り。

議決権行使会員：

会員総会の議決権を持つ会員は、「正会員」及び「維持会員」で、各1個の議決権を持っています。
(維持会員は、維持会員の議決権行使書を持参した者が議決権を行使することが出来ます。)

議決権行使方法について：

議決権は、議決権を持つ「正会員」及び「維持会員」が下記の方法により行使して下さい。

1. 「会員総会出席による議決権行使」
2. 「委任による議決権行使」（無記入の場合は議長に委任したものとさせていただきます。）
3. 「事前の議決権行使」

いずれも、招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに（3月11日まで）北海道倶楽部宛に送付して下さい。

会員総会の招集通知は北海道倶楽部に登録された会員（社員）の住所地に送付しています。招集通知に同封した、【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）の用紙（右欄参照）を使って倶楽部宛に送付されたご連絡は会員の真正な意思表示とさせていただきます。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

（はがき サンプル）

1. 会員総会出席による議決権行使：

会員総会出席者は原則として「議決権行使書」と「議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

2. 委任による議決権行使：（定款第18条第2項）

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【委任による議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。（無記入の場合は議長に委任とさせていただきます。）

受任者は原則として「議決権行使書」と「議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

3. 事前の議決権行使：（定款第18条第1項）

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに（3月11日まで）北海道倶楽部宛に送付して下さい。

以上

公益社団法人北海道倶楽部（TEL:03-3581-4021）

郵送先：〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-17

FAX先：03-3581-4022

mail：hkhd-clb@soleil.ocn.ne.jp

なるべくFAXかmailでのご連絡をお願いします。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

下記□にチェックを入れ至急送ってください。

無記入での返信は議長に委任とさせていただきます。

出席 (議決権行使書と議案をご持参ください。)欠席 (1. 委任もしくは2. 事前議決権行使)

【1. 委任による議決権行使】（記入がない場合は議長とします）

-
- 議長に委任する。
-
-
- 議決権行使書持参者に委任する。

（委任しないで欠席される方）

【2. 事前議決権行使】（否の場合のみ下記□内にXをご記入ください。）

第1号議案—●承認事項

-
- 損益計算書（正味財産増減計算書）
-
-
- 貸借対照表
-
- 財産目録
-
-
- キャッシュフロー計算書
-
-
- 計算書類に対する注記

第3号議案—●選任決議事項

- | | |
|---|-------------------------------|
| (1)理事 候補者 再任(重任) | (2)監事 候補者 再任(重任) |
| <input type="checkbox"/> 川村隆 <input type="checkbox"/> 大久保尚武 | <input type="checkbox"/> 鐵川照夫 |
| <input type="checkbox"/> 小池明夫 <input type="checkbox"/> 鈴木秀一 | <input type="checkbox"/> 澤野正明 |
| <input type="checkbox"/> 本間修 <input type="checkbox"/> 岡村進 | |
| 以下新任候補者 | |
| <input type="checkbox"/> 阿部修平 <input type="checkbox"/> 有末真哉 | |
| <input type="checkbox"/> 間瀬雅晴 | |

令和6年3月12日(正会員・維持会員のID、お名前、ご担当)

(ID-1234 正会員/維持会員)

至急送付ください。3月11日必着でお願いいたします。この葉書を「郵送」、「FAX」又は「スキャンしメールに添付」してください。

Mail：hkhd-clb@soleil.ocn.ne.jp Fax:03-3581-4022

NO. 123